

単元名 2けたをかけるかけ算の筆算

配当時間 6時間

- 単元の目標 (1) (2, 3位数) × (2位数) の筆算の意味を理解し、筆算で計算できる。
 (2) 2位数をかける筆算が、既知の計算(1位数をかける乗法と何十をかける乗法)に基づいていることや、分配法則によっていることに気付くことができる。
 (3) いろいろな(2, 3位数) × (2位数)の問題を作り、筆算で計算しようとする。

標準的な展開例

03040304_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 (2位数) × (何十) の筆算の仕方について考える。[p. 86・p. 87]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 23円のみかんを3個買った場合の代金を求める式を立て計算をする。 ○ みかんを30個買った場合の代金を求める式を立てる。 ○ 23×30 の計算の仕方を考える。 ○ 58×30 の計算の仕方を考える。 ○ 「練習問題」に取り組む。 <p>2 (2位数) × (2位数) の筆算の仕方について考える。[p. 88]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「みんなで考える問題」を読み、式を立てる。 ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 23×34 の筆算のしかたを考えよう。 ○ 23×34 の計算の仕方を考える。 ○ 23×34 の筆算の仕方を知る。 ○ 「練習問題」に取り組む。 <p>3 (2位数) × (2位数) の筆算の仕方を説明する。[p. 89]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 58×34 を筆算で解き、計算の仕方を説明する。 ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ (2けた) × (2けた) の筆算のしかたをせつめいしよう。 ○ 20×48, 56×30 を筆算で解く。 ○ 「練習問題」に取り組む。 <p>4 練習問題に取り組む。[p. 90]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「練習」に取り組む。 <p>5 (3位数) × (2位数) の筆算の仕方について考える。[p. 91]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ (3けた) × (2けた) の筆算をしよう。 ○ 248×32 の計算の仕方を考え、筆算の仕方を知る。 ○ 200×34, 206×47 の筆算に取り組む。 ○ (3位数) × (2位数) の筆算を作って計算する。 <p>6 単元を振り返り、確認問題に取り組む。[p. 92・p. 93]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「たしかめよう」に取り組む。 ○ 学習の振り返りを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な場面での数理事象を取り上げる。 ・ 既習事項なので、筆算で計算させる。 ・ 具体物や関係図を式と対応させることにより(23×3)の10倍であることに気付かせる。 【評】 計算の仕方を考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・ 関係図を用いて考えさせる。58円の具体物(鉛筆等)を30本買った場合を取り上げ、理解をより深めさせる方法もある。 ・ 1桁をかける計算をした後に0を付けると、速く計算できることに気付かせる。 ・ 既習事項と関連させ、筆算の仕方を考えさせる。 ・ 乗数の一の位が0でないことに気付かせる。 ・ 34倍するには、30倍と4倍とを別々に計算して、たせばよいことに気付かせる。 ・ 69の「9」を、92の「9」の下に書いて位をそろえることを確認する。 ・ 繰り上がりの数字をメモする位置を学年で統一しておいた方がよい。 【評】 乗法の筆算を行う活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・ (2位数) × (2位数) の積が4桁になることがあることに気付かせる。 ・ 分配法則を使って、58×4 と 58×30 のたし算になっていることを説明させる。 【評】 乗法の筆算の仕方を説明する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・ かける数に空位の0がある場合は、かけられる数がいくつでも0になることから、筆算では0を書いた後、段を変えずに次の位の計算を確認する。 ・ 文章題では、横書きの式と筆算の両方を書かせ、筆算の過程が残るように指示をする。 【評】 「練習」に取り組む活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・ 個別指導を中心に定着を図る。 ・ 前時までの学習との違いに着目させるとともに、それを利用できないかと問いかける。 ・ 被乗数に注目させる。 ・ (2位数) × (2位数) の筆算を基に考えさせる。 ・ 0を含む数の計算では、計算の位取りに注意させる。 ・ 友達同士で作った問題を解き合ってもよい。 【評】 乗法の計算問題を作って解く活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・ 個別指導を通して、単元の学習内容の定着を図る。 ・ 自己評価をし、不十分なところは教科書で振り返らせる。 【評】 問題に取り組む活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・ かけ算の筆算について分かったことやできる

ようになったこと，もっとやってみたいこと
などを書かせる。

【 備 考 】

2位数や3位数に1位数をかける筆算については，既に学習しているので，本単元ではその発展として乗数の範囲を1位数から2位数に広げた場合の筆算を学習する。2位数をかける計算の仕方は，何十をかける計算と，1位数をかける計算と分配法則に基づいて考えることができる。そのため，乗数が2位数の筆算では式の横に被乗数×1位数と被乗数×何十が示されて，児童の理解の支援をしており，この関係をしっかり確認する必要がある。

また，乗数が2位数以上の時は部分積が2段以上になるので，位取りには十分注意させなければいけない。